



アルファ国際学院  
日本語教師養成420時間  
を修了

## 英語圏で教える希望を実現！ 毎日充実した生活を送り、将来の夢も広がりました

### 英

語圏で日本語を教えたいという強い希望があったので、英国に学校があるアルファ国際学院の日本語教師養成420時間総合講座を受講しました。講座修了後、ワーキングホリデー制度を利用して渡英し、アルファ国際学院のロンドン校で日本語教師としての経験を積んでいます。イギリスはワーキングホリデーの期間が2年と長いのも魅力です。1年間ではあつという間に時間が過ぎ、慣れた頃に帰国というのを避けたいと思いました。

ロンドンには街並みがきれいで、歴史的な建物も多く、伝統を肌で感じる事ができます。最初にまず驚かされたのは、この街の多様性です。イギリスなのだから、暮らしているのはほとんど白人だろうと思っていました。実際は、アフリカ系、アジア系、イスラム系と様々な人たちが暮らしています。特に、電車や地下鉄に乗ると、多国籍な街だということがよくわかります。

### 養成講座で学んだことが 日本語教師としての礎に

そんな国際的な環境に身を置くことで、本当の意味での異文化交流を体験することができています。日本語教師としてのキャリアを積むには最適な場所だといえます。私の場合は海外生活と日本語教師生活が同時にスタートしたので最初は大変でした。でも、アルファ・ロンドン校の先輩方に支えられて、頑張ってきた。半年を過ぎた今では、生活にもすっかり慣れ、日本語教師としての自信もついています。

ロンドン校の生徒はほとんどがビジネスマンです。学校には多い月で100名の生徒が在籍していて、セミプライベートでのレッスンが中心です。そういうこともあって、日本語教師は不足気味です。日本語教師としてスタートしたばかりの私が、渡英後すぐに教え始められたのは、とても幸運なことだと思います。

今、2012年に迫ったオリンピックに向けて、街全体が活性化化してきています。そんな中、日本語教師としての私の生活も日々充実してきていると感じられるようになりました。いろいろな経験をやるからこそ強くなれるし、人間として、日本語教師として成長していけると思っています。

生活をする上では、イギリス人は日本人と感覚が全然違いますね。例えば、日本人は時間を厳守しますが、こちらの人は時間をあんまり気にしません。その一方で、電車内で他人の体に少し当たっただけでも「Sorry」と言いますし、お年寄りには必ず席を譲ります。こういった文化や習慣の違いは、日本にはなかなか気づかないことなので、海外で暮らす経験はやはり日本語教師にとってプラスになると思っています。

あと1年半ロンドンでしっかり勉強して、将来は世界中で教えられる先生になるのが夢です。そのために、次は日本語教育が盛んな東南アジアの地域で、また教えてみたいですね。



生活は街や建物で散策を満喫！ロンドン生活は並みきれいで楽しい。

クラスレッスンはセミプライベートが多いので、じっくり教えられる環境。



### PROFILE 野口美緒さん

1987年生まれ。2010年神田外語大学卒。アルファ国際学院の日本語教師養成420時間を修了し、2011年5月から、ワーキングホリデー制度を利用して渡英、アルファ国際学院のロンドン校で日本語教師として勤務している。

Text: Aya Kaneko